

令和7年度入学式を挙行!!

新潟生命歯学部



生命歯学部



令和7年4月3日(木)に新潟生命歯学部講堂で入学式が行われた。藤井一維学長は米大リーグとマイナー契約を結んだ森井翔太郎選手のインタビューの一部を抜粋し、「実力の不安は学習の継続で補填するしかない。ゴールは簡単にはみえない。目標に向かって努力したものだけが歯科医師になれる」と訓示を述べられた。続いて、渡邊儀一郎校友会会長より、常にチャレンジ精神を持ち自分の目標に向かって突き進んで欲しい、出会いを大切に、コミュニケーションを交わし共同する力を身につけて欲しいとの祝辞をいただいた。最後に新入生代表の小林右季さんが宣誓し、希望に胸を膨らませた新1年生の学校生活がスタートした。

生命歯学部では、令和7年4月2日(水)に本館8階富士見ホールで入学式が挙行された。藤井一維学長は訓示で、「皆様のゴールは歯科医師になることだけではなく、その先にある」と述べられた。また、「本学では歯科医師になるためのことは全て提供し、教員は本気で取り組む学生を手助けするため、これから先は自分の努力次第である。」と述べられた。渡邊儀一郎校友会会長からは、本学は我が国最古の歯科大学であり、「自主独立」の建学の精神が一貫して継承されてきた。常にチャレンジ精神を持ちながら、充実した学生生活を送って欲しいと祝辞を述べられた。最後に新入生代表の水沼寧々さんが宣誓し、期待を膨らませながら学生生活の第一歩を踏み出した。

脈々と続く歴史と伝統

第119回 創立記念式典



約250名の校友が集った



中原理事長による挨拶

令和7年6月1日(日)午前11時から生命歯学部富士見ホールにて創立119周年記念式典が厳かに行われた。今年は日曜日となり約250名が参列した。神職による神事が執り行われ、中原理事長は「華丸大吉のテレビ放映のタイミングの良さ、天地人の言葉のごとき日歯大が明治40年の開設以来、良土地に恵まれてきた事、最長最多数の大学である」。藤井学長は「我が大学は臨床、教育、研究も3つとも最高のレベルによる、これからも最先端の大学を目指す」。渡邊校友会会長は「120周年記念事業に向けて、先人からの伝統を受け継ぎ新たに邁進したい」と述べられた。

続いて名誉博士号は石井拓男先生に授与され、永年勤続者30年8名と20年10名の表彰も行われ、代表者として廣安一彦教授(79回卒)に賞状等が授与され、閉式となった。

埼玉県熊谷市での 6年ぶりの合同合宿

令和7年度日本歯科大学合同合宿が6年ぶりに埼玉県熊谷市で開催された。令和7年4月26日(土)から4月28日(月)にかけて、渡邊儀一郎校友会会長をはじめ埼玉県および熊谷市の校友の先生方をお招きした開会식을皮切りに、7つのスポーツ施設に分かれて、13部門のクラブが活発な活動を繰り広げた。総勢307名(東京校222名、新潟校85名)の学生が参加し、天候にも恵まれ施設環境も良好で充実した合宿が実施できた。今回の合宿では大きな事故もなく、東京・新潟両学生間の親睦が深まり、各種目の競技力の向上が図られたと思われる。



生命歯学部
学生部長

田谷 雄二



サッカー部(熊谷運動公園)

伝統の合同合宿

今回の合同合宿は、埼玉県熊谷市で行われ、コロナ禍以降、実に7年ぶりの開催となりました。普段は一緒に練習する機会のない東京校と新潟校の学生が、互いに切磋琢磨しながら高め合い、交流を深める貴重な機会となりました。

今後もこうした合同合宿を通じて、両校の絆がより一層深まっていくことを願っています。



合同合宿
実行委員長

山崎 司



開会式(熊谷市民体育館)



校友会会長より御祝金贈呈



バスケットボール部(龍原体育館)



剣道部(熊谷市立武道館)



クラブ活動以外での交流

富士見・浜浦フェスタに参加して



グループ討議



課題の発表

1年時のオリエンテーション合宿はコロナ禍で中止となり、学校行事としての合宿は今回が初めてとなりました。普段はなかなか会わない東京校の学生とのワークショップはとても新鮮で、捉え方がすごいと感じる場面が多々ありました。同じ歯科大学でもカリキュラムが微妙に違っていたり、色々な話を共有できて楽しかったです。また歯科医師を目指す仲間がこんなにもいるのだということを改めて実感しました。今後も両校が触れ合う機会が増えれば良いと思います。



新潟生命歯学部3年
福澤 佳歩



歯学体冬季部門 スキー部

令和7年3月19日～23日に志賀高原熊の湯スキー場にて行われた全日本歯科学学生総合体育大会スキー部門において、1～5年生の計11人が参加しました。大会1日目の回転、2日目のパラレル大回転、3日目の大回転と全3種目に参加しました。結果は大学別4位と惜しくも表彰台を逃す結果となりました。合同合宿を行っている新潟生命歯学部とはより絆を深められたうえ、他の大学のスキー部とも多くの交流を行うことができました。



生命歯学部4年
北山 さつき

来年度は新入部員の1年生を含めそれぞれがよい成績を残して大学総合優勝を獲れるよう頑張ります。



女子回転滑走後のひとコマ



インスペクション前の男子陣



表彰式後の東京校新潟校集合写真

ジュビリー5025

ジュビリー5025とは校友会が卒後25年と50年の校友会員に対してお祝いをする事業です。

令和7年6月1日(日)11時より創立記念式典特別参列と、13時よりホテルメトロポリタンエドモントにてジュビリー5025祝賀会が行われた。

今回は卒後50年(ゴールドジュビリー)が64回卒、卒後25年(シルバージュビリー)が89回卒、及びコロナ禍で開催出来なかった85回卒の方々に、記念品贈呈とパーティーに参加していただいた。記念式典132名、祝賀会149名の方々が参加された。



渡邊校友会会長による乾杯



第64回卒の集合写真

スポーツ・文化・学術大賞



午前中の雨が嘘のように上がり晴天の中、令和7年4月26日(土)午後1時から、令和7年度校友会スポーツ・文化・学術大賞の表彰式が埼玉県熊谷市民体育館にて合同合宿開会式の中で行われた。コロナ禍で中止になっていた為、7年ぶりの開催であり、参加者は全員が初参加で、参加数は東京223名、新潟85名合計308名であった。渡邊儀一郎校友会本部会長(63回)の学生たちへの激励の挨拶があり、スポーツ・文化・学術大賞の表彰が行われた。生命歯学部からは第56回全日本歯科学学生総合体育大会優勝の剣道部、バスケット部が受賞し、新潟生命歯学部からは陸上部の男子砲丸投で準優勝と男子円盤投げで準優勝した、3年高口秀治さんが受賞した。それぞれに校友会から表彰状と金一封が贈呈された。

学生短信 Tokyo

新たな視点から 得る学び

私は4年制大学を卒業後、一般企業に2年間勤務しました。サラリーマンとしての生活は刺激に溢れ非常に有意義でしたが、仕事の合間に読んだある書籍に感化され、もっと自身の理想を追求したい!と考えて本学に編入学しました。現在は附属病院にて病院実習に参加し、患者さんや先生方から貴重な学びを得るかわら、バレーボール部で(年々増量し動なくなる体にムチを打ちながら)週2回汗を流しています。あっという間に自身2度目の大学生活も振り返り地点を過ぎてしまいましたが、最後まで楽しく、良医を目指して努力を重ねる所存です。



生命歯学部5年
森 幹也

『イラスト口腔顔面解剖学』

編著：松村譲児／島田和幸

出版社：中外医学社 出版年月：2024 /11

請求記号：D.11 /Ma82 登録番号：100039921

「イラスト顎顔面解剖学(2012年発行)」がタイトルを改め、10年越しに出版されました。

頭頸部の臨床解剖学的知識を重視しており、各ページわかりやすい図と説明で構成され、初めて解剖学を学ぶ学生のみならず国家試験を控えた学生の国家試験対策にも大変役立つ内容となっております。学生の皆さん是非ご一読ください。



●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。

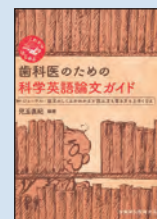
『これから始める歯科医のための科学英語論文ガイド』

編著：児玉直紀

出版社：医歯薬出版株式会社 出版年月：2025

請求記号：D0.7-K 登録番号：000141757

本書では、英語論文について、論文の種類やジャーナルの仕組みの解説を通して、読み方、書き方の解説が記されています。用語の説明や論文の検索方法についての解説もあるため、初めて英語論文を読むという方には特にお勧めできる1冊です。



●図書館開館情報

平日 9:00～18:00 第2水曜日 12:00～18:00 土曜日 終日閉館
貸出・返却・閲覧のみの利用になります。

こうゆう先輩
第35回

挑戦！

神奈川県茅ヶ崎市開業 松井 新吾(89回)



『地域貢献をボランティアでない形で実現するために』が、今の私のテーマです。

常にその時々が必要と思われるテーマを決め、挑戦を続けています。

そして私はテーマ実現のため、株式会社を設立した変わり者です。もちろん、歯科医院の院長として、日々、診療にも取り組んでいます。皆さんが想像する普通の住宅街の中にある歯科医院です。

はじめは、歯科医院として障害者歯科医療の1次医療機関（神奈川県障害者歯科医療担当医）としての取り組みがきっかけでした。様々な理由で食事のできない多くの子供たちと出会い『食べたい気持ちを支える』をスローガンに動き出しました。そして、地域における上質なホスピタリティを確立することに取り組み始め、仲間を集めて活動しています。この活動を活発に継続していくためにはボランティア活動ではなく仕事にしていく必要があります。脱ボランティア活動による継続的な地域貢献への挑戦です。時代錯誤の完全根性論で、毎日を楽しんでいます。

みなさんも様々なことに挑戦し、日々を豊かにお過ごしください。

地域で奮闘するみなさんとどこかで出会えることを楽しみにしています。



介護の現場で働いている外国人の皆さんへの支援



病院(介護医療院)で働く看護師さんたちへの支援



会社の看板の前で撮影した松井新吾



地域の問題を市議会に陳情し、陳情説明のため、市議会に参加

Enjoy
KOYU Times!

校友フォトコーナー

学生さんからの投稿写真を募集します。写真タイトルと名前(ペンネーム可)を付けてください。講義中の写真撮影は禁止です。右のQRコードより応募してください。



「黄昏時の体育館」



「新潟校の中原市五郎先生」

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

KOYU Times 2025 July. | no.50



2025年7月1日発行 発行人：渡邊儀一郎 編集人：小川智久

発行：日本歯科大学校友会 日本歯科大学生命歯学部100周年記念館2F TEL.03-3261-8971 FAX.03-3264-8745

URL <http://www.koyu-ndu.gr.jp/>